

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
 気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

Information

参加者・演題募集中

精神保健看護 日本精神保健看護学会 第26回 学術集会・総会

7月25・3日／滋賀

参加者募集

日時：7月2日（土）・3日（日）
 会場：びわ湖ホール、ピアザ淡海（滋賀県大津市）
 テーマ：心と身体（からだ）と社会を紡ぐ精神保健看護
 プログラム：
 7月2日
 理事会企画「論文投稿時の研究者ルール」岡田佳詠（筑波大学医学医療系准教授／基調講演「災害からの復興と心のケア——新たなパラダイムの予知と看護の役割」南裕子（高知県立大学学長）／教育講演「精神保健とジェンダー」上野千鶴子（立命館大学大学院先端総合学術研究科特別招聘教授）／理事会企画講演「新しい倫理指針は精神看護研究に何を求めているのか」田代志門（国立がん研究センター社会と健康研究センター生命倫理研究室室長）
 7月3日
 市民公開講座（法話）「修行と生活」藤波源信（比叡山飯室不動堂長寿院住職）／ランチョンセミナー／シンポジウム「心と身体と社会を紡ぐ看護の今とこれから」田村恵子（京都大学大学院人間健康科学専攻）・岡美智代（群馬大学大学院保健学研究科）・木村里美（済生会滋賀県病院精神看護専門看護師）

参加費：

（当日）会員8000円、
 非会員9000円

※大学院生を除く学生3000円
 （要学生証提示）

申込方法：ホームページより

大会事務局
 〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町2500 滋賀県立大学人間看護学部甘佐研究室

✉ japhn26@nurse.usp.ac.jp
 運営事務局

〒600-8006

京都市下京区柳馬場西入 ニッセイ四条柳馬場ビル2階（株）日本旅行京都四条支店
 担当：新井（しんぱい）・窪田
 ☎ 075-2225-2311

✉ japhn26@nta.co.jp

http://web.apollon.nta.co.jp/japhn26/

在宅ケア・難病・意思決定支援

京都橘大学看護異文化交流・社会連携推進センター
 2016年度リカレント
 学習講座

7月5日～11月8日／京都

参加者募集

日時：各回18：10～19：30

〈第1回〉7月5日（火）

「在宅医療でできるスキンケア」

判澤恵（京都橘大学看護教育研修センター准教授）

〈第2回〉8月6日（火）

「難病とともに生きる体験と看護

者に期待する事——聞いて・病気を

知って・暖かい眼差し。これが看護者に期待する事」京都難病連

〈第3回〉9月6日（火）

「慢性疾患高齢者の最終的な意思決定支援と実現への看護」藤田愛

（北須磨訪問看護・リハビリセン

ター訪問看護師／所長）

〈第4回〉10月4日（火）

「療養生活を支えるための心のケア」木村里美（済生会滋賀県病院

精神看護専門看護師）

〈第5回〉11月8日（火）

「療養生活を必要とする人を支える包括的な支援とは」堀妙子（京

都橘大学看護学部看護学科教授）

会場：キャンパスプラザ京都（京都市下京区）

定員：各回100名（先着順）

受講料：各回1000円、

5回一括4000円

（いずれも資料代、消費税込）

受付開始：5月16日（月）

申込方法：ホームページ、または

電話：FAX・E-mail

※詳細はホームページ参照

関京都橘大学エクステンション

センター（学術振興課）

〒607-8175

京都市山科区大宅山田町34

☎ 075-574-4186

（直通）9：00～17：00

FAX 075-574-4149

✉ aca-ext@tachibana-u.ac.jp

http://www.tachibana-u.ac.jp/research_area/recurrent/2016/04/part35.html

認知症ケア

公益財団法人生存科学

研究所・上智大学・国立

病院機構東京医療センター

第4回市民公開講座

8月7日／東京

参加者募集

日時：8月7日（日）13時～16時

20分

会場：上智大学10号館講堂（東京都千代田区）

テーマ：ユマニティという革命

プログラム：基調講演「ユマニ

ティードという革命——ケア技

法の創始者ふたりが語るその哲

学」ロゼット・マレスコッティ、

イヴ・ジネスト（いずれもジネ

スト・マレスコッティ研究所／シ

ンポジウム「認知症情報から考

えるケア分析」石川翔吾（静岡大

学情報学部助教）・「IT技術をケ

アの学び（「坂根裕（株式会社テ

ジタルセンセーション代表取締

役）「科学的分析に基づいたケア

の実践」調布東山病院看護部

参加費：無料（事前登録制）

申込：詳細はウェブサイトより

http://seizon.unin.jp/

地域包括ケア

北海道医療大学看護福祉

学部学会 第13回学術

大会

9月3日／北海道

参加者募集

日時：9月3日（土）10：00～16：30

会場：北海道医療大学札幌サテ

6~7月予定 日本訪問看護財団 2016年度研修

6~7月
大阪・愛媛・札幌・東京

受講者募集

1. 訪問看護基礎講座―思い切って一歩(2日間研修)

日時：6月18日(土)・19日(日)
会場：ハートンホテル南船場(大阪市中央区)

対象：新人訪問看護師、これから訪問看護に携わりたい看護職員、在宅看護論を担当する看護教員等

～6月18日～

ねらい：訪問看護の必要性・機能、特性を理解する／訪問看護事業のありましおよび訪問看護師の役割を理解する

プログラム：訪問看護をめぐる動向／訪問看護と病院内看護の違い／訪問看護の基本姿勢と役割／訪問看護制度のありまし

～6月19日～

ねらい：訪問看護の事例を通して、訪問看護展開過程を理解する／訪問看護で行なう「療養上の世話と必要な診療の補助」を理解する／地域における多職種連携の実際を理解する

プログラム：訪問看護の展開過程(演習含む)／訪問看護に必要な知識と対人援助技術／地域における訪問看護師の役割と多職種協働

講師：安藤真知子(財団事務局次長)・田中道子(財団立あすか山訪問看護ステーション所長、訪問看護認定看護師)

受講料：会員1万5000円、非会員3万円

2. 個人情報保護・セキュリティセミナー

日時：6月25日(土)
会場：愛媛県医師会館(愛媛県松山市)

対象：訪問看護ステーション・病院・診療所の訪問看護従事者、請求事務担当者等

ねらい：マイナンバー制度が始まり、利用者はじめ自分たちの個人情報保護の保護、ICT化に備えたセキュリティの課題と対応策を理解し実践できる

プログラム：個人情報保護とは／セキュリティ、マイナンバー制度、ICT化と訪問看護記録等(演習含む)

講師：山下さやか(松山市医師会研修担当)

受講料：会員5000円、非会員1万4000円

3. 質の高い在宅看護取りかえ実践のためのSEINEC-J2016(2日間研修)

日時：7月2日(土)・3日(日)
会場：北海道看護協会(札幌市白石区)

対象：訪問看護師、エンド・オブ・ライフケアに関心のある看護師等

ねらい：がん患者、高齢者等非がん患者も含めてエンド・オブ・ライフケアを理解し、症状マネジメントなどを行なう訪問看護師の役割について学ぶとともに、チーム

ケアの質を向上させる具体的方策について考える

プログラム：エンド・オブ・ライフケアにおける看護ケア／倫理的問題・文化への配慮／痛みのマネジメント／症状マネジメント／コミュニケーション／喪失・悲嘆・死別／臨死期のケア等／全10モジュール(演習・グループワーク含む)

講師：川村三希子(札幌市立大学看護学部教授・千葉恵子(亀田総合病院緩和ケア専従、緩和ケア認定看護師)・門脇睦子(訪問看護認定看護師)・成田佳永(手稲深仁会病院看護部長、緩和ケア認定看護師)・三浦直子(札幌西門山病院副看護部長、老人看護専門看護師、緩和ケア認定看護師)・池田麻理(財団事業部研修担当主任)

ファシリテーター：土井正子(北海道総合在宅ケア事業団、訪問看護認定看護師)・池田ひろみ(新さっぽろ脳神経外科病院訪問看護ステーションおよび所長、訪問看護認定看護師)・安藤真知子

受講料：会員1万5000円、非会員3万円

4. 訪問看護経営管理セミナー(2日間研修)

日時：7月23日(土)・24日(日)
会場：アクセス青山フォーラム(東京都港区)

対象：訪問看護ステーションの管理者、経営者等

ねらい：地域包括ケアシステムと訪問看護をめぐる動向を理解する／訪問看護等在宅ケア事業の経営戦略を理解する

プログラム：訪問看護関連の最新情報、制度の理解と活用(質疑応答含む)／訪問看護ステーションの運営・経営／訪問看護ステーションの労務管理とWLBの実現

講師：佐藤美穂子(財団常務理事)・浅見浩(浅見社会保険労務士事務所所長)

～7月24日(日)～

ねらい：訪問看護ステーションの規模別経営戦略を理解する

プログラム：経営の安定化を導くためのマーケティング、経営戦略／訪問看護ステーションの経営の実際／規模別訪問看護ステーションの経営判断・目標管理／規模別訪問看護ステーションの経営計画書の作成(グループワーク事前提出レポートを基に)

講師：内田恵美子(日本在宅ケア教育研究所代表取締役)

参加費：会員1万5000円、非会員3万円

【以下1~4共通】

問：日本訪問看護財団
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-8-2
日本看護協会ビル5階
☎03-5778-7005
(研修担当)

☎03-5778-7009
<http://www.jvnt.or.jp/>

イトキャンパス・ACU(札幌市中央区)

テーマ：多職種協働による当事者主体のケア

プログラム：講演「地域包括ケアセンターの将来構想(小林正伸(北海道医療大学地域包括ケアセンター長)／特別講演「当事者主体の認知症ケア――ユマニチュード」伊東美緒(東京都健康長寿医療センター研究所／シンポジウム「多職種協働によるベストプラクティス――食べる喜びを求めて」大久保抄織(介護老人保健施設エル・クオール平和、老人看護専門看護師)・五十嵐あけみ(特別養護老人ホーム青葉のまち生活支援課長、介護福祉士・源間隆雄(札幌麻生脳神経外科病院 主任言語聴覚士)・川上智史(北海道医療大学個性医療科学センター長、歯科医師)

参加費：事前申込(会員2000円、非会員2500円)

＜当日申込＞一律3000円(午前の部のみは無料)

※情報交換会3500円は要事前申込。

事前申込：8月19日(金)まで

問：第13回学術大会実行委員会
〒061-0293
石狩郡当別町金沢1-7-57
☎gakkaikai3ka@hoku-ityo-u.ac.jp
<http://www.hoku-ityo-u.ac.jp/>
~ngakkaikai/